

玉川学区・医療福祉を考える会議 ニュース

平成29年11月16日発行

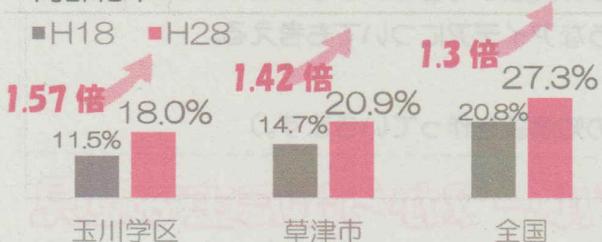
発行責任者

玉川学区社会福祉協議会
玉川地域包括支援センター
草津市役所地域保健課
草津市社会福祉協議会

玉川学区医療福祉を考える会議（第1回）を、平成29年10月31日に開催しました。この会議は、地域住民と専門機関が、高齢者の暮らしの問題をテーマに、ともに情報を共有することを目的にしています。

この会議が必要とされる背景

高齢化率



また、右図の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加が顕著で、14学区の中で1番高い伸び率となっています。

特に、一人暮らし高齢者世帯は、野路町や駅前に多く、高齢者のみ世帯では、野路町や桜ヶ丘町が多くなっています。

②取り巻く環境・制度の変化

これまで介護保険法では、介護施設やデイサービスなどの福祉サービスを利用して、高齢者の生活を支えるという方針でしたが、法改正に伴い、元気な高齢者も、支援が必要な高齢者も、地域でまるごと受け止め、支えていく方針となりました。しかし、急に言われても、どうしたらしいのか全くわからないというのが現状です。

地域のことを 「わがこと」として

上記を背景とし、高齢になっても、いつまでも玉川学区で、安心して暮らしていくため、顔の見える関係をつくりながら、地域のことを「わがこと」として共感する場として、玉川学区医療福祉を考える会議がされました。この会議では、活動を新たに生み出し、強制されるものではなく、高齢者の暮らしの問題に共感し、地域目線で考えることを大切にしています。

そのため、この会議では玉川学区で活動されている以下の団体の皆様とともに、一緒に取り組んでいきます。

- ▶ 玉川学区社会福祉協議会
- ▶ 玉川学区民生委員・児童委員協議会
- ▶ 桜ヶ丘町内会
- ▶ 野路町内会
- ▶ 玉川学区まちづくり協議会
(玉川ハートプロジェクト事業推進会議)
- ▶ 野路ことぶき会
- ▶ 桜ヶ丘熟年会
- ▶ エルダー婦人会
- ▶ 日本赤十字奉仕団玉川分団
- ▶ 野路小林町内会
- ▶ ローレルコート南草津町内会
- ▶ 野路小林町シニアクラブ
- ▶ 更生保護女性会
- ▶ 健康推進員連絡協議会



- ▶ 玉川地域包括支援センター
- ▶ 玉川スマイルクリニック
- ▶ 特別養護老人ホーム 萩の里
- ▶ 小規模多機能型居宅介護事業所 萩の里
- ▶ 萩の里居宅介護支援事業所
- ▶ ムラセ居宅介護支援事業所
- ▶ げんきねっと居宅介護支援事業所
- ▶ よつば訪問看護ステーション
- ▶ 草津市役所地域保健課
- ▶ 草津市社会福祉協議会

グループワークでは…

を4つのグループに分かれ、グループワークを行いました。そして、暗い問題を並べるだけで終わるのではなく、玉川学区が将来どんな姿になっていてほしいか思い浮かべながら、今取り組んでいること・取り組めそうなこと・どんな取り組みがあったら良いか等、将来につながるヒント・アイデアを出し合いました。



話し合いの中で、意識いただいた点

①高齢者を支える側・高齢者自身それぞれが、ご近所や地域に何らかの貢献ができるような仕組みを意識する。

②大きな問題に取り組み抱えこむのではなく、無理なく取り組めそうなアイデアについても考える。

③出たアイデアは、必ず実行するものではありません

(会議では皆さんから意見・知恵を出し合っていただき、玉川学区の知恵袋を作っていくます。)

各グループから出た主な意見

A グループ



- ・地域の関係の希薄化や介護者の孤立の問題がある。
- ・相談するところがどこなのかわからず、必要な情報が入ってこない。
- ・個人情報の問題もあり、アプローチの仕方がわからない。

B グループ

- ・近所づきあいでは、ゴミ捨ての声かけができる等、顔の見える関係が作れるといい。
- ・歩いて行ける場所（空き家・学校の空き教室・特別養護老人ホームのスペースの活用）でサロンができるといい。
- ・若い世代の参加を促すため、役員の定期的な交代や、行事の企画から参画してもらうはどうか。

C グループ

- ・必要な情報が高齢者に届きにくい。身近な機関からの情報紙配布や、気軽に相談できる人を作り出していく。
- ・介護者問題では、家族以外で助けてもらえる人としてボランティアさんの存在は大きい。また、ボランティア自身の楽しみや生きがいにもつながる。



D グループ

- ・人づきあいが希薄。普段から挨拶等、声をかけあうことから始め、サロン等ふれ合える場を身近につくる。サービス事業所で喫茶店をするのはどうか。
- ・後継者不足やイベントでの参加者が増えない。
- ・認知症の問題や相談先が知られていない。

全体を通じて

各グループの意見を集約・整理した結果、第1回目の会議では①人間関係（人づきあい）が希薄、②必要な情報が届かない・得られない、③担い手がいない、④認知症について考えるという大きなテーマが見えてきました。第2回目以降、これらの中から、テーマを絞り、掘り下げて意見交換をしていく予定です。

次回も、引き続きたくさんのご意見をよろしくお願ひいたします。

第2回：平成30年1月16日(火) 13:00～(玉川まちづくりセンター)